

# ひょうご男女共同参画ニュース



## 第23期（令和元年度）男女共同参画アドバイザー養成塾開講（6/13）

男女共同参画社会づくりを推進するリーダーに必要な知識や実践力を習得する「第23期男女共同参画アドバイザー養成塾」が6月13日に開講しました。

開講にあたって、県男女青少年局の大久保局長が、近年「女性活躍」が広く求められているが、それは「男女共同参画」の一つのピースであると強調されました。

次いで当センター野澤所長の講話では、1975年の「国際婦人年」以降の男女共同参画に向けた内外の取組みや男女共同参画社会づくりに向けた本県の取組み等が解説されました。

午後は、「イーブンカフェ～アド塾先輩と語る男女共同参画～」と題したグループワークが実施されました。



アド塾の修了後、さまざまな分野で活躍している5名をゲストスピーカーに迎え、学びの成果としての男女共同参画推進員活動、女性と子ども支援、男女共同参画の視点がある講座づくり、アド塾グループ事業企画の実施等、それぞれが携わっている多彩な活動をお話いただきました。その後、グループに分かれ、ゲストスピーカーを囲んでの活発な討議が行われました。受講生からは、「講座で学んだだけでなく続けて活動されていることがよく理解できた」「地域に根ざした動きなど知ることができた」等の感想が寄せられました。



（問）県男女共同参画センター 078-360-8550

6/27

男女共同参画セミナー「男女共同参画入門～男女共同参画の視点を集めましょう～」

講師：神戸親和女子大学教授・勝木洋子さん

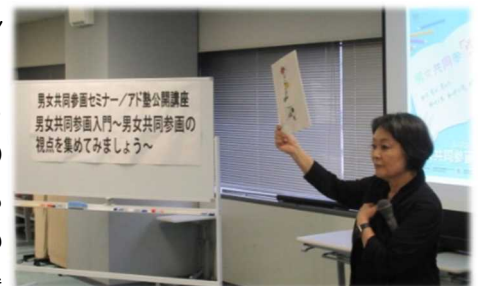
最初に、今年の東京大学入学式での、上野千鶴子さんの祝辞を取り上げ、「平等」と「公平」の違いや、男女共同参画を推進する目的、対応方法等、世の中の当たり前とされていることを問い直してみる視点を例示されました。

次いで、さまざまな現象の一つひとつ具体的にに取り上げ、そうしたことに「なんでやねん？」という疑問符を投げかけていくことで、参加者全員が男女共同参画の議論に入っていきやすい雰囲気をつくることができました。また、今春の統一地方選挙で、小野市議会の女性議員割合が44%（女：男=9：10）と飛躍的に向上したが、その背景には小野市が実施する自治会役員の女性登用に対する補助金制度があるこ

とや、こうした制度への賛否等さまざまな意見はあるが、意思決定の場に女性がいることによって、自治会活動が大きく改善し、今回の女性議員割合の向上につながったこと等の事例の紹介もありました。

参加者からは「無意識の偏見がとても多いこと」や「男女共同参

画の視点が身近にたくさんあること」に気付かされた等の意見が寄せられ、多くの気づきがあった「入門」講座となりました。



（問）県男女共同参画センター 078-360-8550



## 国・県の動き

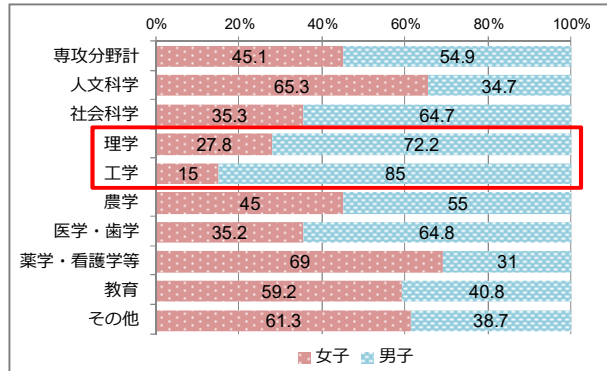
### 令和元年版 男女共同参画白書を公表 ～多様な選択を可能にする学びの充実～

内閣府から「令和元年版男女共同参画白書」が公表されました。今年度の白書では、「多様な選択を可能にする学びの充実」と題し、女性の教育や学びの場における現状・課題等について特集しています。

#### ◆研究者や大学等において理工系分野を専攻する女子「リケジョ」が少ない現状

平成 30(2018)年度における大学(学部)の学生に占める女子の割合は 45.1%と過去最高を記録し、女子の大学進学率は上昇しています。

大学(学部)の専攻分野別に男女の割合を見ると、薬学・看護学等(69.0%)、人文科学(65.3%)、教育(59.2%)の分野では、ほぼ 6～7 割を女子が占めているものの、理学(27.8%)、工学(15.0%)の分野では、女子の割合が3割を下回っており、理工系分野を専攻する女子学生は依然として少ないことが分かります(右図)。



大学(学部)における学生の男女比(専攻分野別)  
参考：令和元年度内閣府男女共同参画白書

また、平成 30(2018)年度における研究者総数に占める女性の割合(16.2%)は、諸外国と比べて低水準にとどまっています。専門分野別の女性研究者の割合は、研究者としての需要が非常に多い工学(6.2%)・理学(14.8%)の分野において特に女性の割合が少なくなっています。

研究者や大学等における理工系専攻分野の女子割合が低い理由を、内閣府は、「女子の理数系科目の学力不足ではなく、理工系への関心や周囲の女子の進学動向、親の意向、身近なロールモデルの不在等の環境が影響していると考えられる。」と分析しています。

※詳細は内閣府 HP をご覧ください。

[http://www.gender.go.jp/about\\_danjo/whitepaper/index.html](http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/index.html)



(問) 県男女家庭課 078-362-3160

### 「家族の日」写真コンクールを実施します 第 12 回(令和元年度)作品募集!

家族のきずなを深めるきっかけづくりを進める「家族の日」運動の一環として、「家族の日」写真コンクールの作品を募集します。

家族のあたたかさやきずなの大切さを感じるひとときをカメラに収め、気軽にご応募ください。

- テーマ わたしの家族自慢
- 募集期間 **令和元年 10月1日(火) 必着**
- 応募資格 兵庫県内に在住または在勤・在学されている方
- 応募方法(募集規定)
  - ・郵送や持参  
2L(127mm×178mm)またはキャビネ板(130mm×180mm)  
カラーまたはモノクロでプリントしたもの。
  - ・インターネット  
県ホームページに掲載している応募サイトに必要事項を入力し、写真データを添付。



■賞 兵庫県知事賞等、入賞者へは副賞もあります

※詳細は兵庫県HPからご確認ください。 [https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17/ac15\\_000000450.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17/ac15_000000450.html)

(問) 県男女家庭課 078-362-3385





## 地域・企業の取組み

### 講演会「人によりそい、人とつながる～私が写真で伝えたいこと」(6/15)

西宮市男女共同参画センターでは、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんを講師に迎え、ご講演をいただきました。

東南アジアを中心に活動されており、東日本大震災後は東北への支援もされています。

シリアでは、幼い少女が人身売買の被害にあい、心の傷を負ったまま生活を送っているということ。樽爆弾などの非人道的な攻撃によって、傷つき亡くなってしまう子どもたちがいるということ。

その写真を撮り続けることで、その人によりそい、世界に伝えられることがあるということでした。「人にはそれぞれ役割がある」という言葉がとても印象的でした。



(問) 西宮市男女共同参画センター 0798-64-9495

### 講演会「おばちゃん目線で見ると男女共同参画～日本のジェンダー・ギャップ指数を考える」(6/15)

姫路市男女共同参画推進センターでは、法学者で大阪大学非常勤講師・全日本おばちゃん党代表代行の谷口真由美さんを講師に迎え、6月15日に男女共同参画週間講演会を開催しました。

谷口さんは、難しいテーマにも関わらず、身近な例を挙げて、楽しくわかりやすくアップテンポな関西弁で話されました。

会場内は笑いが絶えず、あっという間の90分間でした。参加者からは「男女平等とは何かを改めて考えさせられた」といった意見が聞かれました。



(問) 姫路市男女共同参画推進センター 079-287-0803

## ◆◆がんばる企業◆◆

### ～社員一人一人の多様な働き方を支援する制度を積極的に導入～

- 会社名：コベルコビジネスサポート株式会社（神戸市）
- 代表者：代表取締役社長 大井 敬一
- 事業内容：シェアードサービス事業  
(オフィスサービス、PRサービス、旅行業、人事給与)
- 従業員数：162人（平成31年4月1日時点）
- URL：<https://www.kobelco-kbs.co.jp/>



1983年11月に神鋼トラベルサービス(株)として創業し、(株)神戸製鋼所の出張手配を主業務として営業開始。その後、2002年7月にコベルコオフィスサービス(株)、(株)コベルコピーアールセンターとの3社統合により、コベルコビジネスサポート(株)が発足しました。

2011年には(株)コベルコパーソネル、2013年には(株)ドキュメントサービスの一部事業を継承し、シェアードサービス会社として、オフィスサービス、PRサービス、旅行業、人事給与の4事業に取り組んでいます。

また、法定水準を超える育児・介護休暇制度の導入や時短勤務制度、フレックスタイム制、毎週水曜日のノー残業デー等の制度を設けており、

仕事と生活の両立がしやすい環境が整えられています。

2016年には厚生労働大臣より、「子育てサポート企業」として認定を受け、次世代育成認定マーク「くるみん」を取得した他、2018年には公益財団法人兵庫県勤労福祉協会ひょうご仕事と生活センターより、WLBの推進に取組み、成果を上げている企業として認定を受けています。

本年度は3つの取組目標「両立支援と女性活躍推進」「働きやすく活気ある職場づくり」「働き方変革による業務効率化」を設定しました。社員全員がイキイキと働くことができる組織を目指し、取組みを進めていきます。

(問) 県男女家庭課 078-362-3160



## お知らせ・参加者募集中の講座

### ★男女共同参画セミナー★

日時	テーマ	講師
7/25(木) 10:30～ 12:30	女性の貧困と子どもの貧困～自己責任論からの脱却～	神戸学院大学 経済学部長・教授 神原 文子さん
7/25(木) 13:30～ 15:30	女性の労働参加の現状と課題～縮みゆく日本とこれからの女性の選択～	甲南大学 マネジメント創造学部教授 前田 正子さん
8/8(木) 10:30～ 12:30	働き方と家族のゆくえ～これからの共働きを考える～	立命館大学 産業社会学部教授 筒井 淳也さん
8/8(木) 13:30～ 15:30	DV とモラハラ、児童虐待～加害者を変えるNOVOの取り組み～	非暴力ルーム大阪 (NOVO) 運営 伊田 広行さん

- ◆定員 各回 40名(先着順) ◆受講料 無料  
◆締め切り 各開催日の1週間前

### ★男女共同参画セミナー★

#### 「理工系女子をめざそう！～好きなことを仕事にする～」 参加者募集

「理工系の魅力って何？」「就職するために何すればいいの？」「女性でも活躍できるの？」そんな疑問や不安を抱く人がいるかも知れません。

セミナーでは、企業や教育機関で働いている女性の皆さんにご登壇いただき、理工系への進学や就職について直接お話をお聞きし、「好きなことを仕事にする」夢を叶えましょう！

- ◆日時: 令和元年 8月 21日(水) 13:30～16:00

- ◆場所: 兵庫県立男女共同参画センター・セミナー室

- ◆内容: 第1部 講演 13:30～

講師: 中谷敬子さん(大阪府立大学工業高等専門学校准教授・博士(工学))

第2部 パネルディスカッション 14:30～

- ◆対象: 理工系に興味のある中学生、高校生、保護者等テーマに関心のある人

- ◆定員: 30名(先着順)

- ◆参加費: 無料

※このページの詳細は、下記までお問い合わせください。

## 兵庫県立男女共同参画センター・イーブンの相談窓口

種類	相談方法	電話番号等	実施日時	
女性のためのなやみ相談 (女性カウンセラー)	電話(直通)	078-360-8551	月～土曜日	9:30～12:00 13:00～16:30
	面接(要予約)	078-360-8554	月～金曜日 土曜日	11:00～18:40 9:20～16:50
法律相談(女性弁護士)	面接のみ ※なやみ相談(面接)後に予約		毎月 第2水曜日(原則)	
男性のための相談(男性臨床心理士)	電話	078-360-8553	毎月第1・3火曜日(原則)	17:00～19:00
女性のためのチャレンジ相談 (女性社会保険労務士等)	電話・面接 (電話・面接とも要予約)	078-360-8554	毎月第1～4木曜日 7/27	10:00～13:00
女性就業相談室ハローワーク相談窓口	問い合わせ(電話相談不可)	078-360-8260	月～金曜日	9:00～17:00
情報相談(情報アドバイザー)	電話(直通)	078-360-8557	月～土曜日	9:00～17:00
不妊・不育専門相談(助産師等)	電話(直通)	078-360-1388	毎月第1・3土曜日	10:00～16:00
	面接(要予約)	078-362-3250	毎月第2土曜日、 5/22、8/28	14:00～17:00
思いがけない妊娠SOS(助産師)	電話(直通)	078-351-3400	月曜日と金曜日	10:00～16:00
	メール	http://ninshinsos-sodan.com		随時受付。返信は原則として1週間以内

### ひょうご男女共同参画ニュース

令和元年7月号(Vol. 100) ※毎月1日発行

【編集・発行】 兵庫県立男女共同参画センター・イーブン、兵庫県男女家庭課

【問い合わせ】 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー7階 兵庫県立男女共同参画センター  
TEL: 078-360-8550 FAX: 078-360-8558

【開館時間】 月～金曜日 9:00～19:00 / 土曜日 9:00～17:00 HP <https://www.hyogo-even.jp/>

【休館日】 日曜日、祝日、国民の休日、年末年始(12/28～1/4) Facebook <https://www.facebook.com/hyogo.even>

このニュースは、関係機関・団体や希望者に配信させていただくとともに、男女共同参画推進員がお配りさせていただいています。配信を希望される方は、上記にご連絡ください。